

2023 年度

授業概要

科目名	生体機能代行装置学Ⅲ（代謝）①			授業の種類	講義演習	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 通年
【授業の目的・ねらい】 血液浄化療法について、基礎的知識を身に付け、臨床での実際を理解する。 演習では手技と理論を学び、得られた結果は研究にとどめず、ME2種取得にも繋げる。							
【実務者経験】兵庫県臨床工学技士会会長を経て、現在はかいべ循環器・透析クリニックにて透析医療に従事。 兵庫県臨床工学技士会では災害対策委員会の部門長を担当。							
【授業全体の内容の概要】 前・後期を通じて、実際に臨床業務を行う際に、現場でより理解しやすくするための基礎的内容とする。 演習では、物理的原理を学び、新たな「発見」を促す内容とする。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 前・後期を通じて、血液浄化業務に携わることの意義を理解し、高い興味を示すことを期待する。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	血液浄化療法の歴史と社会的背景について理解できる						プロジェクタ
2	血液浄化療法の基礎・原理について理解できる						プロジェクタ
3	バスキュラーアクセス(解剖生理)について理解できる						プロジェクタ
4	バスキュラーアクセス(穿刺・管理)について理解できる						プロジェクタ
5	浄化器の性能評価について理解できる①						プロジェクタ
6	浄化器の性能評価について理解できる②						プロジェクタ
7	血液浄化法について理解できる①						プロジェクタ
8	血液浄化法について理解できる②						プロジェクタ
9	演習①(流量試験)						演習機材
10	演習①(流量試験)						演習機材
11	演習①(流量試験)						演習機材
12	演習①結果発表会						プロジェクタ
13	透析液組成について理解できる①						プロジェクタ
14	透析液組成について理解できる②						プロジェクタ
15	透析液清浄化について理解できる						プロジェクタ
【使用教科書・教材・参考書】 ・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 第2版、竹澤真吾 ほか、医歯薬出版株式会社 ・配布資料							
【準備学習・時間外学習】 準備学習：次回講義範囲について教科書または配布資料をを読んでおく。 時間外学習：要点をレポートにまとめ提出する。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として評価する。 提出物評価を20点及、小テスト評価を20点、定期試験を60点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							

2023 年度

授業概要

科目名	生体機能代行装置学Ⅲ（代謝）②			授業の種類	講義演習	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 通年
【授業の目的・ねらい】 血液浄化療法について、基礎的知識を身に着け、臨床での実際を理解する。 演習では、実際に起こり得ることを理解し、手技を学ぶ。							
【実務者経験】 兵庫県臨床工学技士会会長を経て、現在はかいべ循環器・透析クリニックにて透析医療に従事。兵庫県臨床工学技士会では災害対策委員会の部門長を担当。							
【授業全体の内容の概要】 前・後期を通じて、実際に臨床業務を行う際に、現場でより理解しやすくするための基礎的内容とする。 演習では、物理的原理を学び、新たな「発見」を促す内容とする。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 前・後期を通じて、血液浄化業務に携わることの意義を理解し、高い興味を示すことを期待する。							
回数	講義内容						準備物(教材)
16	水処理装置について理解できる						プロジェクタ
17	透析装置・その他デバイスについて理解できる						プロジェクタ
18	合併症について理解できる①(透析アミロイドーシス・透析困難症)						プロジェクタ
19	合併症について理解できる②(その他)						プロジェクタ
20	透析医療の災害対策について理解できる						プロジェクタ
21	医療事故防止対策について理解できる						プロジェクタ
22	演習②(TMPが理解できる)						演習機材
23	演習②(TMPが理解できる)						演習機材
24	演習②結果発表会						プロジェクタ
25	演習③(手動プライミング・返血の手技ができる)						演習機材
26	透析治療における感染対策について理解できる						プロジェクタ
27	抗凝固法について理解できる						プロジェクタ
28	その他の血液浄化法について理解できる						プロジェクタ
29	透析治療に関わる薬剤と検査について理解できる						プロジェクタ
30	全講義内容についての復習						プロジェクタ
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 ・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 第2版、竹澤真吾 ほか、医歯薬出版株式会社 ・配布資料							
【準備学習・時間外学習】 準備学習：次回講義範囲について教科書または配布資料を読んでおく。 時間外学習：要点をレポートにまとめ提出する。							
【単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)】 試験の結果を100点満点として評価する。 提出物評価を20点及、小テスト評価を20点、定期試験を60点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							